

徳島県キャリア教育推進指針Ⅱ

とくしまの未来を切り拓くキャリア教育



ご あ い さ つ

平成28年12月に、中央教育審議会による答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」において、「平成23年1月にまとめた答申を踏まえ、その理念が浸透してきている」とされる一方、「将来の夢を描くことばかりに力点が置かれ、『働くこと』の現実や必要な資質・能力の育成につなげていく指導が軽視されていたりするのではないか」等、様々な課題が指摘されました。

これを受け、示された各学校段階の新学習指導要領等において、2030年の社会とその先の豊かな未来を生きる子供たちの生き方を育むため、特別活動を要としたキャリア教育の充実が求められています。

特に、2022年4月1日以降、成年年齢が引下げられると、18歳が成年として様々な場面で扱われることとなり、児童生徒へのキャリア形成支援に対する教職員の意識改革が急務だと言えます。

一方、少子高齢社会を歩む日本において、徳島県の平成31年2月1日現在の推計人口は、734,356人と減少傾向が続いており、県では、持続可能な地域社会の形成のため、「とくしま人口ビジョン」として2060年の人口「60～65万人超」の確保に向け、様々な施策に取り組んでいます。

Society 5.0時代の到来やグローバル化が一段と進展する中、人生100年時代を迎え、子供たち一人一人の未来を支援し、将来どこで活躍していても徳島に想いを馳せることができる、そうした持続可能な社会の創り手育成につながるよう、新たな方向性を示す必要があります。

各学校におかれましては、さきの「徳島県キャリア教育推進指針」とともに「徳島県キャリア教育推進指針Ⅱ『とくしまの未来を切り拓くキャリア教育』」を活用し、学校長のリーダーシップのもと、学校・家庭・地域・経済団体等が連携して、チーム学校として、一体となったキャリア教育のなお一層の推進をお願いいたします。

最後になりましたが、本指針の策定に御尽力いただきました、徳島県キャリア教育推進協議会の委員の皆様方に厚くお礼を申し上げます。

平成31年3月

徳島県教育委員会教育長
美馬 持仁

目 次

はじめに（未来の社会を生きぬく資質・能力を育てるために）	1
------------------------------	---

I これまでの取組	3
-----------	---

- 1 徳島県キャリア教育推進指針の概要
- 2 学校におけるキャリア教育全体計画等について
- 3 キャリア教育充実のための様々な取組について

II 成果と課題	9
----------	---

- 1 児童生徒の変容
 - (1) 自己肯定感の向上
 - (2) 地域や社会の出来事への関心や社会参画
 - (3) 将来の夢や目標
 - (4) 働くことへの理解
 - (5) 学んだことと社会（働くこと）への接続
 - (6) 予期せぬ困難への対応
 - (7) 特別支援学校における切れ目ないキャリア教育
- 2 幼・小・中・高の学校間連携（縦の連携）と学校・地域間連携（横の連携）の状況
 - (1) 幼・小・中・高の学校間連携（縦の連携）
 - (2) 学校・地域間連携（横の連携）
 - (3) 特別支援学校における縦の連携
 - (4) 特別支援学校における横の連携

III 推進方針と今後の主な取組	28
------------------	----

- 1 「ふるさと とくしま」を知る・考える機会の創出・拡充
- 2 挑み続ける「人財」の育成
- 3 「自分」を認め・創る手立ての実践

おわりに（未来のふるさと徳島を描く）	41
--------------------	----

※参考資料	(1)
-------	-----

- 1 答申・告示
 - 中央教育審議会答申
「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」
 - 新学習指導要領及び同解説
要領 総則（小・中・高） 特別活動（小・中・高） 公民（高）
解説 特別活動（小・中・高）
- 2 冊子等 刊行物
 - 文部科学省・国立教育政策研究所等 発行
 - 徳島県教育委員会 作成
- 3 用語解説
- 4 引用・参考文献